

わたしが がんばっていること

東部小・2 しのはら えま

わたしは、ならいごとでピアノをならっています。わたしはピアノを四さいくらいからやっています。ピアノをならったきっかけは、お母さんがむかしピアノをならっていて、じっさいにピアノをひいてくれたのを聞いたら、かっこいいと思ったので、ピアノをはじめました。

はじめてピアノ教室に行った時は、きんちょうして、どきどきしていました。でも先生がやさしく、声をかけてくれたので、少しあんしんしました。先生について行って教室に入ると、いすにすわりました。先生が

「今日はまだなれていないから、かんたんなきよくをひくよ、このきよく知っているかな。」

と聞いて、ピアノをひいてくれました。そのきよくは「メリーさんのひつじ」や「かえるのがっしょう」でした。わたしは、知っているきよくだったので、楽しくて、リズムにのりながら聞いていました。聞いているうちに、さつきまでのきんちょうがなくなっていました。その後、先生がノートに音ぶのもんだいを書いてくれました。もんだいをといてみると、おもしろくて、もっと音楽のことを知りたいと思いました。先生に見せると、花丸をくれて、うれしい気持ちになりました。じっさいに自分でピアノをひいてみても、とても楽しくて、もっとひきたいという気もちになりました。これから、

ピアノ教室をつづけられそうだなと思いました。

ピアノ教室では、毎年、夏にはつぴよう会があります。一年間でいろいろなきよくをれんしゅうするけれど、はつぴよう会のきよくはとてもむずかしくて、もっと上手にひけるようになりたいなと思って、れんしゅうをしています。先生もほめてくれるので、もっとがんばりたいという気もちになります。

二年生のはつぴよう会では、シンデレラの「ゆめはひそかに」「ビディ・バビディ・ブー」をひきました。わたしのすきなきよくなので、ひいていると楽しい気もちになったけれど、右手と左手のうごきがちがうので、とてもむずかしかったです。でもあきらめたくなかったので、いっしょうけんめいがんばって、れんしゅうしました。ピアノ教室がおわって家にかえってもすぐピアノのれんしゅうをしました。そうするとだんだんとひけるようになってきました。わたしは、ピアノ教室に通うたびに上手になっていくので、わたしもうれしいし、みんながわたしのピアノをひくと楽しそうにわらってくれるので、うれしい気もちになりました。そして、はつぴよう会は大せいこうでした。わたしはがんばるとできるようになるんだなあと思いました。

ピアノが楽しいりゆうは、友だちや家ぞくがいるということも大きいです。友だちはとてもやさしくて、いっしょにピアノをならっている楽しい気もちになります。お母さんもいつも

「上手だよ」

と言ってくれます。わたしはお母さんのことばを聞くとがんばりたいという気もちになります。ピアノが行きたくないとなるときもあるけれど、がんばってできるようになりたいと思います。家ぞくに

よろこんでもらいたいです。そして、やっぱり自分ができるようになるにとてもうれしいのがんばっています。

今は「ジングルベル」をれんしゅうしています。左手がたくさんうごくので、むずかしいです。上手にひけるようになりたいので、家でもれんしゅうしています。

わたしの目ひようは、もつともつとピアノを上手にひけるようになることです。そのために家やピアノ教室でしつかりとれんしゅうしたいと思います。自分も楽しく、まわりの人にも楽しいと思つてもらえるようなえんそうをしていきたいです。